

2023年度 経済学部 一般選抜 問題訂正

教科・科目	ページ	設問	誤	→	正
日本史	8	Ⅱ	問8 上から2行目 「空欄1～6」	→	問8 上から2行目 「空欄1～ <u>7</u> 」

I 近代の日本とドイツの関係について述べた次の文章を読んで、問1～問5に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

日本とドイツとの外交関係は、1860年9月、ケーニヒスベルク（現在のカーニングラード）出身のAフリードリヒ・ツー・オイレンブルク伯爵を長とする使節団が、江戸に来航し、1861年1月、日本とBプロイセン王国のあいだで条約が調印されたことに始まる。この時期のドイツは統一国家を形成していなかった。そのため、オイレンブルクは、プロイセンをはじめ、30を超える国と日本との条約締結を使命として来日した。しかし、幕府はそのような多数の国家との条約締結を拒み、結局、プロイセン1国を相手とした条約が締結されたのである。条約締結後には、幕府の蕃書調所ではドイツ語の学習も始まった。この時期にドイツ語を学んだ知識人の1人にのちに東京大学総理^{そうり}などを歴任し、C日本の教育界に足跡を残した加藤弘之がいる。また、D日本からドイツへの留学生も多かった。

19世紀末から20世紀初頭にかけて、ドイツの外交政策が転換すると、日本とドイツは外交的には対立関係に入った。第一次世界大戦がはじまると、E日本はドイツに対して宣戦布告し、山東半島のドイツ租借地やドイツ領南洋諸島を占領した。

問1 下線部Aに関連して、次の資料は、オイレンブルク使節団の公式報告書中に記された、江戸時代の日本の対外関係に関する叙述の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。これを読んで、以下の（1）、（2）に答えなさい。

（a）は贈物とシベリア総督^{しよがん}の書翰を用意し（中略）蝦夷（中略）に上陸し、そこで歓迎された。（中略）書翰にたいする回答（中略）によると、（中略）そこでの交渉はできず、また彼が江戸に来ることも許されない。彼は通行証を提出のうえ（ア）港へ入るように、α遭難者^{しやうなん}に関しては、ロシア人は彼らを置いていこうとふたたび連れ帰ろうと、好きなようにするがよからう（中略）というのであった。（中略）（a）は（ア）へ行かなかった。その代り、日本の書翰とそれに添えられた通行証を見た皇帝アレクサンドル1世は、1803年、シベリアと千島に詳しい侍従（b）をかなりの全権を与えて派遣した。（中略）奉行は、彼が江戸に行きたいという要望を断固として拒否した。（b）は、皇帝の書翰を（ア）の官憲に差し出し、その回答を待つということで満足しなければならなかった。

〔資料出所〕『オイレンブルク日本遠征記』上巻

（1）資料中の空欄（a）、（b）に入る人名を、次の〔語群A〕の1～5の中から、空欄（ア）に入る地名を、〔語群B〕の1～5の中からそれぞれ選びなさい。

〔語群A〕

1. ウィッテ 2. ゴローニン（ゴローニン） 3. プチャーチン 4. ラクスマン 5. レザノフ

〔語群B〕

1. 下田 2. 長崎 3. 根室 4. 箱館 5. 松前

(2) 波線部αに関連して、資料中の空欄(a)の人物が伴ってきた漂流民の談話などをもとに『北槎聞略』がまとめられた。これをまとめた人物の名を、次の1～5の中から選びなさい。

1. 桂川甫周 2. 工藤平助 3. 近藤重蔵 4. 志筑忠雄 5. 林子平

問2 下線部Bに関連して、大日本帝国憲法は、プロイセン王国の憲法や、それについての法学者による解釈の影響を受けている。例えば、予算に関する規定がある。議会は政府の同意なくして予算案を削減できないとされていたが、他に政府にはどのような予算に関する権限が与えられていたか。その権限の内容について、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問3 下線部Cに関連して、近代日本の教育に関する次のa～cの出来事は、下の年表のどこに入れるのが適当か。年表中の空欄1～7の中からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)

- a. 内村鑑三が第一高等中学校を辞職した。
b. 学制が公布された。
c. 大学令が公布された。

1

大教宣布の詔が発せられた。

2

東京大学が設立された。

3

教育令が公布された。

4

帝国大学令が公布された。

5

教育勅語が発布された。

6

小学校の教科書が国定となった。

7

問4 下線部Dに関連して、次の資料a～cは、ドイツに留学した経験のある人物による著作の一部である（必要に応じて表現を改めた）。資料a～cとその著者の組み合わせとして適当なものを、下の1～6の中から1つ選びなさい。

a

驚くべきは現時の文明国における多数人の貧乏である。（中略）私がここに、西洋諸国にはたくさんの貧乏人がいるというのは、経済学上特定の意味を有する貧乏人のことで、かりにこれを第三の意味の貧乏人といっておく。そうしてそれを説明するためには、私はまず経済学者のいうところの貧乏線の何ものたるやを説かねばならぬ。

b

もし君主が統治権の主体であると解してすなわち君主が御一身の利益のために統治権を保有し給うものとするならば、統治権は団体共同の目的のために存するものではなく、ただ君主御自身の目的のためにのみ存するものとなって、君主と国民とは全くその目的を異にするものとなり、したがって国家が一つの団体であるとする思想と全く相容れないことになるのであります。

c

この定義は自ら二つの内容を我々に示す。一つは政権運用の目的即ち「政治の目的」が一般民衆の利福に在るということで、他は政権運用の方針の決定即ち「政策の決定」が一般民衆の意向に拠るということである。換言すれば、一は政治は一般民衆のために行われねばならぬということで、二は政治は一般民衆の意向によって行われねばならぬということである。

（資料出所はいずれも省略する。）

- | | | |
|------------|---------|---------|
| 1. a 河上肇 | b 美濃部達吉 | c 吉野作造 |
| 2. a 河上肇 | b 吉野作造 | c 美濃部達吉 |
| 3. a 美濃部達吉 | b 河上肇 | c 吉野作造 |
| 4. a 美濃部達吉 | b 吉野作造 | c 河上肇 |
| 5. a 吉野作造 | b 河上肇 | c 美濃部達吉 |
| 6. a 吉野作造 | b 美濃部達吉 | c 河上肇 |

問5 下線部Eに関連して、日本が第一次世界大戦へ参戦した当時の外務大臣である加藤高明について述べた次の文章を読んで、以下の(1)～(4)に答えなさい。

加藤高明は、1860年、尾張藩の下級武士の家に生まれた。大学卒業後は三菱本社などにつとめたのち官僚となり、外務省、大蔵省で働いた。外交官としては α イギリスに駐在していた期間が長く、親英的な立場をとった。第四次伊藤内閣で外務大臣となり、当初は伊藤博文が設立した(ア)に近かったが、桂太郎の新党設立計画に賛同し、桂の没後、その計画によってつくられた(イ)の総裁となった。その後他党との合流をへて成立した(ウ)でも総裁を務めた。(ア)に近かった寺内正毅内閣の成立以降、野党の党首であったが、 β 第二次護憲運動のちに首相となった。加藤高明内閣のもとでは、男子普通選挙が実現したほか、 γ 治安維持法も成立した。

(1) 文章中の空欄(ア)～(ウ)に入る、それぞれ異なる政党の名称を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

- (2) 下線部 α に関連して、次の資料 a ～ c は、日本とイギリスとの間で結ばれた条約・協定の一部である（必要に応じて表現を改めた）。資料 a ～ c の条約・協定が結ばれた時期を、下の年表中の空欄 1 ～ 7 の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a

大ブリテン国が日本帝国に於て執行したる裁判権、及び該権に属し又は其の一部として大ブリテン国臣民が享有せし所の特典、特権及び免除は、本条約実施の日より、別に通知をなさず全然消滅に歸したるものとす。

b

日本国は韓国に於て政事上、軍事上及經濟上の卓絶なる利益を有するを以て、大ブリテン国は日本国が該利益を擁護増進せむが為、正当且必要と認むる指導、監理及び保護の措置を韓国に於て執るの権利を承認す。

c

もし日本国又は大ブリテン国の一方が上記各自の利益を防護する上に於て、列国と戦端を開くに至りたる時は、他の一方の締約国は厳正中立を守り、併せて其同盟国^{あわ}に対して他国が交戦に加はるを妨くることに努むべし。

〔資料出所〕『日本外交年表並主要文書』上巻

1

ノルマントン号事件が起きた。

2

下関講和条約が結ばれた。

3

ロシアなど 3 国が、日本に遼東半島の清への返還を要求した。

4

ロシアが旅順・大連を清から租借した。

5

北京議定書が締結され、清に巨額の賠償金が課せられた。

6

日露戦争が始まった。

7

- (3) 下線部 β はどのような事態を批判して発生したか、当時の内閣の性格に触れつつ、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- (4) 下線部 γ に関連して、治安維持法の内容と、のちに田中義一内閣がおこなった改正の内容について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅱ 近世から明治期の三井家・三井財閥について述べた次の文章を読んで、問6～問10に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

A 伊勢松坂を発祥の地とし、17世紀に創業した三井越後屋は、京都、江戸、大坂など各地に拠点を持ち、呉服商、両替商などを営んだ。両替店は、幕府の御用として、江戸・大坂間の送金業務を担い、それは三井に大きな利益をもたらした。一方で、幕末になると、財政難に苦しむB 幕府は、三井に巨額の御用金を課し、それは三井の経営を圧迫した。

維新後の三井は、新しい時代に対応するための改革を実行した。呉服業と金融業を分離したのもその1つである。このとき分離された呉服業が、後にC 三越百貨店となり、金融部門はD 三井銀行に発展してゆく。やがて三井の事業は多角化し、E 商社や鉱業会社なども含む三井財閥が形成された。

問6 下線部Aに関連して、伊勢松坂出身の人物として、国学者の本居宣長がいる。江戸時代の思想家について述べた次の文章を読んで、空欄（ア）～（エ）に入る人名を、下の1～8の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

本居宣長は日本古典の研究を通じて、日本独自の思想のあり方を探った学者であるが、国学にはさまざまな潮流があった。宣長の影響を強く受け、その弟子を自称した（ア）は、神道と結びつき、その思想は幕末・維新期の政治に大きな影響を与えた。一方、（イ）は古典の文献学的研究に従事し、幕府の援助のもとで、和学講談所を設立した。

本居宣長は町人出身で、自身は医師だったが、江戸時代には町人出身の学者は少なくない。大坂の町人が設立した私塾・懐徳堂は、『夢の代』をあらわした（ウ）のような学者を輩出した。また、（エ）の心学は、町人たちの道德規範として広く受け入れられた。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石田梅岩 | 2. 賀茂真淵 | 3. 太宰春台 | 4. 塙保己一 |
| 5. 平田篤胤 | 6. 山県大弼 | 7. 山片蟠桃 | 8. 山崎闇斎 |

問7 下線部Bに関連して、近世後期に幕府がおこなった改革に関する、以下の（1）、（2）に答えなさい。

（1）18世紀末の寛政の改革では、江戸に町会所が設置された。江戸町会所の機能について、その資金源に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

（2）近世後期の幕府が関東地方の統治を改革するために置いた役職に、関東取締出役がある。この役職の任務と、その特徴について、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問8 下線部Cに関連して、次の資料a～cは、三越百貨店に関する新聞記事である（必要に応じて表現を改めた）。
資料a～cが新聞に掲載された時期を、下の年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a

商工省、大政翼賛会、戦時物資活用協会では消耗戦と資源戦の実相を知らしめるため戦ふ資源展覧会を大蔵、内務両省、情報局協賛のもとに十八日から二十七日まで三越本店で開催する（中略）その内容はまづ米英蘭の東亜侵略、敵側の対日圧迫年表から戦前の我国資材の対米依存状況なども展示され、ここで一転して逆封鎖を受けた敵の資源などが戦果と共に示される。

b

二日午前十一時頃、日本橋区三越本店へ学生風や労働者風の男が三々五々百余名集合不穏の形勢あるといふので所管堀留署員十余名で警戒中、この一隊は三井銀行寄りの一階休憩室から腕を組み雪崩れを打って飛びだし『ワッショワッショ』の喚声と共に真向ひの三井銀行裏門へ殺到『国民生活を蹂躪しドル買ひに狂奔する奸悪の牙城を粉碎せよ』とか『三井財閥を膺懲^{ようちやう}せよ』等印刷したビラを散布しつつ、受付へ現れ（中略）堀留署に検束された社会青年同盟員二十六名は（中略）単なる財閥に対する反感からこの挙に出たものとみられてゐる。青年同盟は社会民衆党内にある前衛分子からなるもので（中略）騒ぎが一段落ついたあとで同銀行の筆頭常務池田成彬氏は語る。（中略）銀行としてのまじめな商取引の上からドルを買ったもので金輸出再禁止を見越して買ったなどといふことはない。

c

楽しい新入学を待つお子さん方や、目出度く進級の諸子諸嬢の為に、時節柄の新装を凝らした学用品がもう店頭で客待ち顔に並んでゐます。（中略）日章旗を持つた兵士と云つた軍国調の鉛筆削り（各十銭）と先頃^(*)の日独伊防共協定に因んだ三国の国旗を配したナイフ（六十五銭）と爆弾型のナイフ（三十五銭）等事変の産んだ時世粧がはつきりとこんな些細なものにまで現れてゐます（三越にて）。

（*）先頃とは、資料cの記事が掲載された約3ヶ月前のことである。

（資料出所はいずれも省略する。）

1

張作霖が殺害された。

2

ニューヨークのウォール街で株価が大暴落した。

3

犬養毅首相が殺害された。

4

二・二六事件が起きた。

5

ドイツがポーランドへの侵攻を開始した。

6

日本軍が南部仏印に進駐した。

7

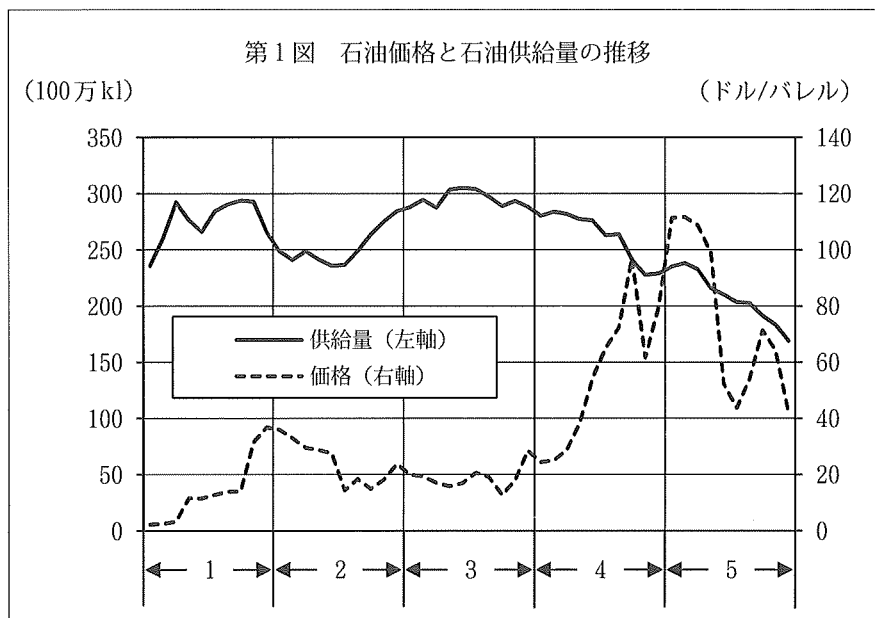
問9 下線部Dに関連して、三井家は、三井銀行設立以前に第一国立銀行の設立にかかわっていた。国立銀行の設立状況の推移について、国立銀行が発行する紙幣の性質に関連づけて、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問10 下線部Eに関連して、第二次世界大戦後の三井物産・三井鉱山に関する次の文章を読んで、以下の（１），（２）に答えなさい。

三井財閥の商社部門である三井物産は、財閥解体のなかで、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）の指令によって一度解散させられ、多くの企業に分かれたが、その後、アメリカの対日政策の転換を受けて、旧三井物産系企業の合同によって、新しい三井物産が設立された。 α エネルギー源の石炭から石油への転換がすすむなか、三井物産はインドネシアなどで石油開発に乗りだした。

一方、エネルギー転換によって石炭産業は人員整理を迫られた。三井三池炭鉱では労働者の解雇がおこなわれたが、労働組合はこれに反発して激しい労働争議が起こった。 β 日本労働組合総評議会や、その傘下の日本炭鉱労働組合の支援もあったが、争議は労働者側の敗北に終わった。

- (1) 下線部 α に関連して、次の第1図は、20世紀後半から21世紀にかけてのある50年間における石油の国際価格および日本における石油供給量の動向をグラフ化したものである。図の横軸1～5は10年ごとの区分である。下のa～dの出来事が起きた時期を、図の1～5の中からそれぞれ選びなさい。ただし、1の時期より前の場合は0を、5の時期より後ろの場合は6を記入しなさい。(重複使用不可)



〔資料出所〕 資源エネルギー庁『エネルギー白書』および
BP p.l.c., *Statistical Review of World Energy* より作成。

- a. イラク復興支援特別措置法が公布された。
b. 第1回先進国首脳会議が開催された。
c. PKO協力法が公布された。
d. プラザ合意によりドル高の是正がはかられることになった。
- (2) 下線部 β に関連して、日本労働組合総評議会の結成とその路線転換について、次の語をすべて用いて、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

産別会議 日本社会党 レッドパージ

Ⅲ 19世紀後半から現代までの日本で起きた大地震に関して述べた次の文章を読んで、問11～問16に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

地震の多い日本では、大規模な被害を出す地震が何度も起きてきた。地震の被害が社会に大きな影響を与えることも多く、また地震に対する反応からその当時の政治や文化の特徴を理解することもできる。

江戸時代末期には大地震が相次いだ。安政東海地震では津波が発生し、当時開国と国境の画定を求め来航していたA ロシアの使節の乗艦も被害を受けた。翌年には安政江戸地震が発生し、水戸藩のB 徳川齊昭の腹心として活躍した藤田東湖も地震で死亡した。

明治時代中期には濃尾地震が発生し、5年後には明治三陸地震が発生した。濃尾地震や明治三陸地震では当時発達しつつあったC 新聞による報道でその被害が日本全国に報じられ、多くの義援金も集まり、これ以降災害時に義援金を送る文化が定着していった。

1923年には関東大震災が発生して東京や横浜は大きな被害を受け、10万人を超える死者・行方不明者を出した。経済への打撃も深刻であり、D 震災で決済不能になり支払いが猶予されていた手形が不良債権化して問題となった。一方、その後起きた昭和恐慌により東北を中心とした農村の生活は一層苦しくなり、それに追い打ちをかける形で昭和三陸地震が起きた。

太平洋戦争中には鳥取地震、昭和東南海地震、三河地震が起きたが、報道統制が敷かれ国民に被害の実情が十分知られることはなかった。一方、終戦直後には昭和南海地震、福井地震が起き、E 戦争からの復興途上だった被災地はさらに打撃を受けた。

平成に入ると阪神・淡路大震災が起きた。さらに東日本大震災では原子力発電所の事故が起き、これを契機に日本のF 電力政策のあり方についても議論が起きた。

問11 下線部 A に関連して、次の資料 a～c は、日本とロシアとの関係に関する条約または宣言の抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料 a～c の条約・宣言が調印または発表された時期を、下の年表中の空欄 1～6 の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a

第一条 日本国は満洲に於ける政事上及び経済上の利益及び活動の集注する自然の趨勢に顧み、かつ競争の結果として生ずることあるべき紛議を避けんことを希望し、本協約追加約款に定めたる分界線以北の満洲に於て、自国の為又は自国臣民若しくは其の他の為、何等鉄道又は電信に関する権利の譲与を求めず、又同地域に於て露西亜国政府の扶持する該権利譲与の請求を直接間接共に妨礙せざることを約す。露西亜国は亦た同一の平和的旨意に基き前記分界線以南の満洲に於て自国の為、又は自国臣民若しくは其の他の為、何等鉄道又は電信に関する権利の譲与を求めず、又同地域に於て日本国政府の扶持する該権利譲与の請求を直接間接共に妨礙せざることを約す。

（中略）

第二条 露西亜国は日本国と韓国との間に於て、現行諸条約及び協約（中略）に基き存在する政事上利害共通の関係を承認し、該関係の益々発展を来すに当り之を妨礙し又は之に干渉せざることを約す。

（中略）

第三条 日本帝国政府は外蒙古に於ける露西亜国の特殊利益を承認し、該利益を損傷すべき何等の干渉を為さざることを約す。

b

第二条 露西亜帝国政府は日本国が韓国に於て政事上、軍事上及び経済上の卓絶なる利益を有することを承認し日本帝国政府が韓国に於て必要と認むる指導、保護及び監理の措置を執るに方り之を阻礙し又は之に干渉せざることを約す。

（中略）

第九条 露西亜帝国政府は薩哈連島南部及び其の附近に於ける一切の島嶼並びに該地方に於ける一切の公共營造物及び財産を完全なる主権と共に永遠日本帝国政府に譲与す。其の譲与地域の北方境界は北緯五十度と定む。（後略）

c

抑々「チエツク、スローヴァック」軍は夙に建国の宿志を抱き、終始聯合列強と共同敵対するものなるが故に、其の安危の繋る所延いて与国に影響すること尠しとせず。是れ聯合列強及び合衆国政府が同軍に対し多大の同情を寄与する所以なり。（中略）合衆国政府も亦同く其の危急を認め、帝国政府に提議して先ず速に救援の軍隊を派遣せむことを以てせり。是に於てか帝国政府は合衆国政府の提議に応じて其の友好に酬い、且つ今次の派兵に於て聯合列強に対し歩武を齊しうして履信の実を挙ぐる為速に軍旅を整備し、（後略）。

〔資料出所〕『日本外交年表並主要文書』上巻

1

江華島事件が起きた。

2

官営八幡製鉄所が操業を開始した。

3

南満州鉄道株式会社（満鉄）が設立された。

4

軍部大臣現役武官制が改正され、陸海軍大臣の資格が予備役・後備役にまで拡大された。

5

ワシントン会議で海軍軍縮条約が締結された。

6

問12 下線部Bに関連して、次の文章を読んで、文章中の空欄（ a ）、（ b ）に入る人名を、下の 1～8 の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

徳川斉昭は水戸藩主となると、藤田東湖や、『新論』を執筆して民心統合の核に天皇を位置づける国体論を提示した（ a ）を登用して藩政改革を進めた。ペリーが来航すると老中首座（ b ）は諸大名や幕臣にも意見を求めるなどの改革を進める中で斉昭を幕政に参加させた。その後斉昭は安政の大獄で永蟄居を命ぜられ間もなく死去する。

- | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 1. 会沢安（正志斎） | 2. 阿部正弘 | 3. 安藤信正 | 4. 海保青陵 |
| 5. 佐藤信淵 | 6. 本多利明 | 7. 松平慶永（春嶽） | 8. 水野忠邦 |

問13 下線部Cに関連して、次の文章を読んで、以下の（ 1 ）、（ 2 ）に答えなさい。

明治に入り、活版印刷や洋紙製造の技術が導入されることにより日刊新聞や雑誌が次々に創刊され、報道や評論を行った。福澤諭吉や森有礼らは『（ ア ）』を発行して近代思想を紹介した。当初は、政府内の α 木戸孝允 なども新聞の発行を奨励する立場をとっていたが、自由民権運動が広まり政府批判が高まると、政府は讒謗律や新聞紙条例を制定して言論を取り締まるようになった。明治時代中期には初期の欧化主義への反動もあり、陸羯南の新聞『（ イ ）』などが国家の独立性や国民性を重視する国民主義を主張した。一方で幸徳秋水・堺利彦らが創刊した『（ ウ ）』は反戦論や社会主義論を掲載して当局から弾圧を受けた。

（ 1 ） 文章中の空欄（ ア ）～（ ウ ）に入る新聞・雑誌名を、次の 1～8 の中からそれぞれ選びなさい（重複使用不可）。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国民之友 | 2. 時事新報 | 3. 太陽 | 4. 中央公論 |
| 5. 日本 | 6. 平民新聞 | 7. 明六雑誌 | 8. 万朝報 |

- (2) 下線部αに関連して、政府は言論を取り締まる一方で、自由民権運動に対応した政治機構の改革も進めた。この時期の政治機構改革について、一度は政府を去った木戸孝允が政府に復帰する契機となった会談と、そこで決められた方針に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問14 下線部Dの手形の処理は政治状況とも関わり内閣交代につながる大きな混乱を引き起こした。これに関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 手形の処理をきっかけとして起きた混乱により内閣が総辞職に至る経緯について、内閣名に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

- (2) (1)で総辞職した内閣の次の内閣は混乱をどのように収束させたか、内閣名に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問15 下線部Eに関連して、戦後復興期の日本経済に関する次の資料a、b(必要に応じて表現を改めた)が出された時期を、下の年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)

a

支出を嚴重に引締め、かつ必要適切と認められる新財源を含めて最大限の収入を確保することによつて一日もはやく総合予算の眞の均衡をはかること、
収税計画を促進強化し、脱税者にたいしては迅速かつ広範囲にわたつて徹底的刑事訴追措置をとること、
金融機関からの融資は日本の経済回復に貢献する諸事業にだけ与えるよう嚴重に限定すること、
賃金安定を実現するための効果的計画を作成すること、
現行の価格統制計画を強化し、必要があればその範囲を拡張すること、
外国貿易管理の操作を改善し、かつ現行外国為替管理を強化すること、これらの措置を適切に日本側機関に移譲することが出来る程度にまで行うこと、
(後略)

b

第一条 金融機関は本令施行の際、現に存する預金其の他金融業務上の債務にして命令を以て定むるもの(以下封鎖預金等と称す)に付ては、第三条第二項の規定に依るの外、其の支払を為すことを得ず。
日本銀行券預入令第四条第二項の規定に依り生じたる預金、貯金及び金銭信託は之を封鎖預金等と看做す。
(中略)
第六条 大蔵大臣は命令の定むる所に依り金融機関其の他大蔵大臣の指定する者に対し、資金の融通を制限し又は禁止することを^う得。

(資料出所はいずれも省略する。)

1

連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）が人権指令を出した。

2

片山哲内閣が発足した。

3

ロイヤル陸軍長官が対日政策の転換について演説した。

4

下山事件が起こった。

5

警察予備隊が設置された。

6

問16 下線部Fに関連して、近年まで続いていた電力の地域独占体制は、日中戦争勃発後に制定された電力国家管理法に基づく体制が第二次世界大戦後に再編成されて成立した。電力国家管理法が制定された同じ議会では、議会の承認なしに戦争の遂行のために必要な物資や労働力を利用する権限を政府に与える法律が制定された。この法律の名称を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。